

学生便覧 2022年度

B2022-6

薬学部

医療薬学科

# 履修の手引と手続き

## <小目>

I	ディプロマ・ポリシー	2
II	カリキュラム・ポリシー	2
III	授業科目について	2
IV	授業科目の単位と認定	2
V	進級基準	3
VI	卒業に必要な単位について	4
VII	授業科目の学年配当と履修すべき単位数	4
	1. 全学部共通基盤科目群	4
	2. キャリア形成科目群	7
	3. 専門科目群	8

Josai International University

# 履修の手引と手続き

## I ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

薬学部 医療薬学科は、所定の単位を取得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（薬学）の学位を授与します。

1. 薬学について総合的な知識を身に付け、適切に理解して活用することができる。
2. 地域社会の人々の健康生活を支えるため、薬剤師として求められる実務能力とコミュニケーション能力を身に付け、適切に活用することができる。
3. 薬剤師として求められる倫理観を身に付け、人の生命や人としての尊厳と権利について理解し、医療従事者に求められる責任感を持って行動することができる。
4. 薬剤師を含む専門家のコミュニティに加わり、積極的な参加者として考え行動することができる。
5. 生涯学習する意欲と能力を身に付け、薬学に係る知識・技能の向上、健康生活の質の向上、多職種間連携の拡充に向けて、自発的に行動することができる。

## II カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

薬学部 医療薬学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、薬剤師としての専門性を身に付けた医療人を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

- ◇ 医療薬学を学ぶ基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
- ◇ 医療人に求められる責任感や倫理観に基づく行動習慣を身に付け、豊かな人間性を育み、生涯学習につながる自己省察力を醸成するため、6年間を通じたポートフォリオ学習やキャリアファイルを活用する科目などで構成するキャリア形成科目群を設置する。
- ◇ 薬剤師資格の基盤となる専門性を体系的に身に付けるため、基礎薬学、衛生薬学、医療薬学、薬学臨床について学ぶ科目、及び総合演習からなる薬学専門科目群を設置する。
- ◇ 身に付けた知識・技能・態度を統合し、専門職に求められる判断力や実践力を高めるため、実務実習、卒業研究、特論演習からなる実践的科目群を設置する。
- ◇ 薬学の知識・技能を身に付けた専門職として、視野を広げ、異なる価値観を受容し、他者を理解して協働できる能力を高めるため、専門職連携教育や国際教育に係る科目群を設置する。
- ◇ アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力及び学生の成長に伴う達成度を以下のように測定、評価する。
  - ① 専門知識の修得に関しては、薬学専門科目群や総合演習を通じて測定・評価を行う。
  - ② 医療人としての意欲や態度に関する測定・評価は、ヒューマニズムを醸成する科目群並びに自記式評価票を用いて行う。
  - ③ 専門職に求められる判断力や実践力の修得に関する測定・評価は、実践的科目群を通じて行う。
  - ④ 学年進行に伴う学生一人ひとりの総合的評価は、上記の評価指標に加えポートフォリオ学習の成果やキャリアファイルを用いて行う。

## III 授業科目について

薬学部 医療薬学科における授業科目は、全学部共通基盤科目群、キャリア形成科目群、専門科目群Ⅰ及びⅡから構成されている。

## IV 授業科目の単位と認定

本学部では単位制が採用されている。単位制とは、ひとつひとつの授業科目に一定の基準により定められた単位があり、履修授業科目に対して、試験もしくは、その他の方法により学習評価をしたうえで、その単位を認定する制度である。

単位の認定は、S・A・B・Cの4段階の評価により行い、F評価は単位を認定しないものとする。なお、N・Hは、単位振替により単位を認定したことを表す。

## V 進級基準等

### 1. 進級基準

3年次から4年次への進級にあたっては、以下2.の表において1年次～3年次以降開講科目として示す必修科目（キャリア形成科目群，専門科目群Ⅰ，専門科目群Ⅱのうちの必修科目）の単位を修得しなければ進級できない。ただし、未修得必修単位数が、クォーター毎の履修登録上限以内の者について、進級を認めることがある。

なお、未修得必修単位数とは、1年次から在籍年次までの開講科目における未修得必修単位数を加算したものをいう。実習科目の単位は必ず修得していること。

3年次から4年次への進級にあたっては、総合演習A，B，C及び全学部共通基盤科目群（17単位）を必ず修得していること。

4年次から5年次への進級にあたっては、総合演習Dを必ず修得していること。また、4年次終了時に当該年次及び下級年次の未修得必修科目がある場合は、5年次に進級できないことがある。

6年次に薬局・病院実務実習の単位修得が見込めない場合は、5年次から6年次への進級を認めない。

### 2. 進級判定の対象となる年次開講科目及び科目数

1年次以降開講科目 《18科目》	2年次以降開講科目 《20科目》	3年次以降開講科目 《20科目》	4年次以降開講科目 《11科目》
科目名	科目名	科目名	科目名
医療薬学基礎ゼミ 薬学概論 A 薬学概論 B 医療倫理 薬学基礎化学 薬学基礎生物 薬学基礎物理 化学 A 化学 B 解剖生理学 生物学 生理化学 A 物理化学 分析科学 A 公衆衛生学 基礎薬学実習 総合演習 A 情報メディア演習	ライフステージ IPE A 薬学外国書講読 有機化学 A 有機化学 B 生理化学 B 分析科学 B 物理薬剤学 細胞生理学 微生物学 A 微生物学 B 食品衛生学 環境衛生学 薬理学序論 薬理学 A 生薬学 薬物治療学 A 医療薬剤学 A 化学系実習 生物系実習 総合演習 B	ライフステージ IPE B 生体防御学 分子生物学 薬理学 B 薬理学 C 医薬品化学 A 病態解析学 臨床化学 薬物治療学 B 薬物治療学 C 医療薬剤学 B 医療薬剤学 C 医薬品情報学 臨床薬物動態学 製剤学 A 製剤学 B 薬剤学演習 医療薬学系実習 A 医療薬学系実習 B 総合演習 C	薬剤師倫理 医療経済学 薬品放射科学 医薬品化学 B 薬物治療学 D 漢方医学 病態解析学演習 薬事関係法規 医療統計学 病院・薬局事前学習 総合演習 D
◎進級判定にかかる対象科目数 《58科目》			◎進級判定にかかる対象科目数 《11科目》

\* 全学部共通基盤科目群「アカデミック・スキルズ」の単位が修得できていない場合は、3年次から4年次への進級を認めない。

\* 全学部共通基盤科目群のうち、「Fundamentals of English I」及び「Oral Fluency I」，「Fundamentals of English II」または「English for Advanced Studies B」の3科目6単位を3年次までに修得できていない場合は、3年次から4年次への進級を認めない。

\* 全学部共通基盤科目群のうち、「現象世界をつかむ」，「現代社会の課題に挑戦する」，「歴史をひもとく」，「社会の構造的変動をとらえる」，「世界を創造する」，「知の知を追究する」，「心と身体の充実をはかる」の中から10単位を3年次までに修得できていない場合は、3年次から4年次への進級を認めない。

\* 総合演習 A，総合演習 B 及び総合演習 C は、4年次への進級において必修とする。

\* 総合演習 D は、5年次への進級において必修とする。

\* 共用試験を合格した学生のみ、薬局・病院実務実習を受けることができる。

\* 6年次に薬局・病院実務実習の単位修得が見込めない場合は、5年次から6年次への進級を認めない。

### 3. 履修登録上限

クォーター毎の履修登録上限は年次ごとに異なり、1年次20単位、2年次20単位、3年次20単位、4年次18単位、5年次12単位、6年次20単位とし、サマーセッション及びウィンターセッションでは、年次に関わらずそれぞれ4単位までとする。また、年間の履修登録については、原則49単位を上限とする。クォーター毎の上限、年間の上限のいずれも超えてはならない。ただし、大学が教育上適当と認める場合は、履修登録上限の単位数を超えて履修することを認めることがある。

## VI 卒業に必要な単位数について

卒業に必要な単位は、以下の表に示すとおりである。

科目群		各科目群に必要とされる 単位数
全学部共通基盤科目群		17 単位
キャリア形成科目群		11 単位
専門科目群	専門科目群 I	135 単位
	専門科目群 II (ゼミ研究・実践科目)	27 単位
卒業に必要な総単位数		190 単位

## VII 授業科目の学年配当と履修すべき単位数

### 1. 全学部共通基盤科目群

全学部、全学年の学生を対象として設置される科目である。各学部の専門の学びの基盤となる文理の壁を越えた幅広い教養を身に付けることを目的とする。

\*単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数						最低修得 単位数	備 考
		1年	2年	3年	4年	5年	6年		
全 学 部 共 通 基 盤 科 目 群	アカデミック・スキルズ	①						7 単位	「Fundamentals of English I」及び「Oral Fluency I」、「Fundamentals of English II」または「English for Advanced Studies B」の3科目6単位を選択し、修得すること。  I及びIIに区分されている科目においてIIの科目を履修するためにはあらかじめ同一科目のIを修得しなければならない。
	SDGs×大学生	1							
	Fundamentals of English I	2							
	Fundamentals of English II	2							
	Oral Fluency I	2							
	Oral Fluency II	2							
	TOEIC Preparation A	2							
	TOEIC Preparation B	2							
	TOEIC Preparation C	2							
	TOEIC Preparation D	2							
	English for Specific Purposes A	2							
	English for Specific Purposes B	2							
	English for Advanced Studies A	2							
	English for Advanced Studies B	2							
	中国語 I	2							
	中国語 II	2							
	韓国語 I	2							
	韓国語 II	2							
	スペイン語 I	2							
	スペイン語 II	2							
	ドイツ語 I	2							
	ドイツ語 II	2							
	フランス語 I	2							
	フランス語 II	2							
	ハンガリー語 I	2							
	ハンガリー語 II	2							
ポーランド語 I	2								
ポーランド語 II	2								
チェコ語 I	2								
チェコ語 II	2								

\*単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数						最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年	5年	6年		
全学部共通 基盤科目群	データ分析の基礎(解析)	2						10 単位	
	データ分析の基礎(線形代数)	2							
	自然科学概論 A(物質・宇宙・エネルギー)	2							
	自然科学概論 B(生命現象の理解とその応用-生命科学)	2							
	自然科学概論 C(環境科学)	2							
	食環境論	2							
	香りと環境	2							
	情報セキュリティ A	2							
	情報社会と情報倫理	2							
	人工知能論	2							
	データサイエンス I	2							
	データサイエンス II	2							
	統計学	2							
	身体の理解	2							
	デジタルアプリ A	2							
	デジタルアプリ B	2							
	生物からみた環境の仕組み・生態学	2							
	インターネット配信	2							
	エリアスタディーズ A	2							
	エリアスタディーズ B	2							
	観光の現在と未来	2							
	ヘルスツーリズム	2							
	社会心理学	2							
	生活と文化		2						
	現代社会の課題に挑戦する	生涯スポーツ概論	2						
	スポーツ社会学	2							
	ボランティア論	2							
	国際日本学	2							
	コミュニケーションの基礎	2							
	域学共創プロジェクト A	2							
	域学共創プロジェクト B	2							
	域学共創プロジェクト C	2							
	域学共創プロジェクト D	2							
域学共創プロジェクト E	2								
域学共創プロジェクト F	2								
域学共創プロジェクト G	2								
域学共創プロジェクト H	2								
域学共創プロジェクト I	2								
域学共創プロジェクト J	2								

\*単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系 列	授業科目	開講年次及び単位数						最低修得 単 位 数	備 考
		1年	2年	3年	4年	5年	6年		
全 学 部 共 通 基 盤 科 目 群	歴史をひもとく	史学概論	2						
		日本の歴史 A	2						
		日本の歴史 B	2						
		西洋史概論	2						
		アジア史概論	2						
		現代史入門	2						
		人類とモノづくり	2						
		房総の文化と歴史	2						
		科学史	2						
		映像メディア史	2						
		音楽史	2						
		社会の構造的変動をとらえる	政治学入門	2					
			国際関係論		2				
			経済学入門	2					
			経済原論 A	2					
			経済原論 B	2					
			社会と経営	2					
			社会と会計	2					
			マーケティング論	2					
			広告戦略論	2					
			社会学	2					
			社会調査		2				
			法律学概論	2					
			日本国憲法	2					
			民法 A		2				
			商法		2				
			著作権	2					
			社会福祉学 A	2					
			社会福祉学 B		2				
			経営情報基礎論 A	2					
		世界を創造する	地理学 A	2					
			地理学 B	2					
			世界遺産のいま	2					
			西洋美術	2					
			美学・芸術学	2					
			表象文化研究	2					
		日本の現代文化	2						
		日本の伝統文化	2						
		日本文学概論	2						
		日本の文学(古典)		2					
		日本の文学(近・現代)		2					
		日本語表現	2						
		文学のはじまりー古代ギリシア・ローマの文学	2						
		世界の文学	2						
		演劇研究	2						
		古典芸能研究	2						

\*単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数						最低修得単位数	備考	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年			
全学 部共 通基 盤科 目群	教育学	2								
	心理学	2								
	基礎の数学	2								
	ジェンダー論	2								
	根拠への問いー哲学へのとびら		2							
	宗教学概論	2								
	倫理学概論	2								
	文化人類学	2								
	異文化適応論	2								
	比較文化概論	2								
	言語学概論	2								
	心と身体 の充実をはかる	スポーツ科学 A	1							
	スポーツ科学 B	1								
	スポーツ科学 (ダンス)IA	1								
	スポーツ科学 (ダンス)IB	1								
しゃべりのスキルUp I	2									

## 2. キャリア形成科目群

\*単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数						最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年	5年	6年		
キャ リア 形 成 科 目 群	医療薬学基礎ゼミ	①						11 単位	「ライフステージ IPE C」を修得した学生は、専門科目群 I の選択科目に振り替えることができる。
	薬学概論 A	②							
	薬学概論 B	①							
	医療倫理	②							
	情報メディア演習	①							
	ライフステージ IPE A		①						
	ライフステージ IPE B			①					
	ライフステージ IPE C			1					
	薬剤師倫理				①				
	医療経済学				①				

### 3. 専門科目群

\*単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数						最低修得単位数	備考	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年			
専門科目群 I	薬学外国書講読		②					135 単位	専門科目群 I の中より、必修を含め 135 単位以上を選択し、修得すること。	
	薬学基礎化学	②								
	薬学基礎生物	②								
	薬学基礎物理	②								
	薬学基礎数学	2								
	化学 A	②								
	化学 B	②								
	有機化学 A		②							
	有機化学 B		②							
	化学系演習		1							
	解剖生理学	②								
	生物学	②								
	生理化学 A	②								
	生理化学 B		②							
	物理化学	②								
	分析科学 A	②								
	分析科学 B		②							
	物理薬剤学		②							
	薬品放射科学				②					
	細胞生理学		②							
	生物系演習		1							
	微生物学 A		②							
	微生物学 B		②							
	生体防御学				②					
	分子生物学				②					
	公衆衛生学	②								
	基礎栄養学	2								
	食品衛生学		②							
	環境衛生学		②							
	薬物代謝学				2					
	毒性学				2					
	化粧品論					2				
	薬理学序論		②							
薬理学 A		②								
薬理学 B				②						
薬理学 C				②						
生薬学		②								
薬用植物学		2								
医薬品化学 A				②						
医薬品化学 B					②					

\* 単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系 列	授業科目	開講年次及び単位数						最低修得 単 位 数	備 考
		1年	2年	3年	4年	5年	6年		
専 門 科 目 群 I	病態解析学			②					
	病態解析学演習				①				
	臨床化学			②					
	臨床生理学				2				
	臨床検査総論				2				
	臨床検査実習				1				
	薬物治療学 A		②						
	薬物治療学 B			②					
	薬物治療学 C			②					
	薬物治療学 D				②				
	医療薬剤学 A		②						
	医療薬剤学 B			②					
	医療薬剤学 C			②					
	医療薬剤学 D			2					
	医薬品情報学			②					
	臨床薬物動態学			②					
	製剤学 A			②					
	製剤学 B			②					
	製剤学演習			①					
	臨床栄養学				2				
	食品機能学				2				
	先端医療論				2				
	臨床薬理学				2				
	臨床薬効評価学				2				
	漢方医学				②				
	薬事関係法規				②				
	医療統計学				②				
	薬剤疫学				2				
	基礎薬学実習	②							
	化学系実習		②						
	生物系実習		②						
	医療薬学系実習 A			②					
	医療薬学系実習 B			②					
病院・薬局事前学習				⑤					
プロジェクト薬学			1						
Introduction to Health Science	2								
Practical English for Pharmacists			2						
薬学グローバル研修			2						
薬学実践グローバル研修				2					

\* 単位数に○印を付してある科目は必修を示す。

系列	授業科目	開講年次及び単位数						最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年	5年	6年		
専門科目群 I	総合演習 A	①							
	総合演習 B		①						
	総合演習 C			①					
	総合演習 D				①				
	総合演習 E				1				
	薬学総合演習						④		
専門科目群 II (ゼミ研究・実践科目)	薬局・病院実務実習						⑩	「ファーマシューティカルケア特論演習」から「プロジェクト型薬学特論演習」までの授業科目のうち、3単位以上を選択し修得すること。また、「応用臨床コミュニケーション特別演習」及び「国際社会薬学特別演習」の単位を修得した学生は、そのうち1科目のみ(2単位分)を5, 6年次の特論演習科目の単位に振り替えることができる。	
	卒業研究及び卒業論文A				①				
	卒業研究及び卒業論文B					③			
	卒業研究及び卒業論文C						②		
	応用臨床コミュニケーション特別演習						2		
	国際社会薬学特別演習						2		
	ファーマシューティカルケア特論演習						2		
	薬局セルフケア特論演習 A						2		
	薬局セルフケア特論演習 B						2		
	薬局機能特論演習 A						2		
	薬局機能特論演習 B						2		
	地域ケア特論演習 A						2		
	地域ケア特論演習 B						2		
	地域ケア特論演習 C						2		
	ライフステージ IPE D						1		
	ジェンダー・ライフステージ薬学特論演習						2		
	病院機能特論演習						2		
	医薬品開発特論演習						2		
	医療安全対策特論演習						2		
	医薬品規制特論演習						2		
アドバンスト実務実習						2			
プロジェクト型薬学特論演習						2			